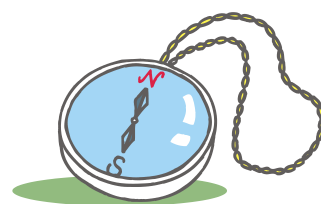


羅 針 盤

第 **38** 号

令和3年（2021年）3月1日（月）



◆ 心が変われば

「心が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。人格が変われば、運命が変わる。」これは、元プロ野球選手、日本のプロ野球では東京読売ジャイアンツで活躍し、その後、アメリカの大リーグでもニューヨーク・ヤンキースに籍を置いて、活躍した松井秀喜さんが座右の銘としていた言葉です。もともとは、心理学者・哲学者としても有名なウィリアム・ジェームズの言葉だそうですが、松井選手が星稜高校時代に野球部の山下監督からおくられた言葉です。この言葉は、どんなときも松井秀喜さんの心の支えであり、常に自分自身の根幹にあるものだそうです。松井秀喜さんだけに限ることなく、この言葉は、あらゆる人のあらゆる生き方においても言えることではないでしょうか。自分の思い通りに事が運ばなかったり、失敗が続いてしまうと「なぜ自分ばかりが・・・」と考えてしまったりすることは、誰もが経験したことがあるように思います。そして、つい誰かのせいにしたり、何かのせいにしたり、……。自分以外の何かに責任転嫁をしてしまいたい気持ちを持つようなことがあると思います。この言葉は、「すべては自分次第」ということを、問いかけているのではないのでしょうか。自分の「人生」を本気で変えたいのなら、まずは「自分が変わること」「自分の心を変えること」だということ。「運命」を口にする人も多いとは思いますが、逆転の発想をすれば、「運命は変えることができる」ということです。もっと言うならば、「運命は心次第で変わっていく」ということの意味です。さらに、山下監督は、当時の星稜高校の野球部員たちに対して、「花よりも花を咲かす土になれ」と指導されていたそうです。レギュラーであろうが控えであろうが、自分が他人のために頑張ること、花を咲かすことよりも花を咲かす土になることを、日々の指導の中で繰り返し語っておられたそうです。この言葉も、松井秀喜さんの野球人生を支える言葉になっていたそうです。



◆ いつでも今日が始まり

三寒四温を繰り返しながら、季節は少しずつ春へと向かっています。後1カ月もすれば、年度も変わり4月となります。この1カ月の間で、残された課題をどこまで実行に移すことができるか。「いまさらやってもだめかなあ」と思う場面は誰にでもあることです。しかし、始めなければ結局、何も変わることはありません。「いつ始めれば良かったのか。」と考えるよりも、「始めたときがいちばん早いときなんだ。」と考えて実行に移すことが最優先です。最初の一步を踏み出すことができれば、「なぜあんな簡単な一步を踏み出せずにいたのだろう。」と思うようになるものです。最初の一步がなかなか踏み出せないときは、自分に言い訳をつくっていたり、後悔ばかりが先走っているときだそうです。「いつでも今日が始まり。今日から始められないか？」と自分に問いかけ、行動に移すことを忘れずに、自分自身に与えられた課題の解決に向け、進んでいってほしいと思います。少しずつでも努力を積み重ね、いつかは大きな実が実ることを信じて頑張ってください。

